

## 【 企 業 動 向 調 査 （ 製 造 業 ） 概 況 】

2024 年 10 月～12 月期の企業動向調査（市内製造業 94 社）を行った結果、業況判断指数D I の平均は 1.7 ポイントとなりました。

前期調査結果（2024 年 7 月～9 月期：▲ 15.3 ポイント）と比較して 17.0 ポイント好転しました。その他経営上の問題については、「人材不足。募集してもなかなか来ない。若年層が特に来ない。」、「原材料・燃料の高騰が止まらず、価格単価にも限界感がある。」、「トランプ大統領就任後の関税の影響を心配している。」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「一般機械」、「電気機械」、「その他業種」はプラスポイント、「木材家具」は 0 ポイント、「食品」、「金属」はマイナスポイントとなりました。

### 業種別の業況判断前期比D I

|       |        |           |       |
|-------|--------|-----------|-------|
| 食品    | ▲ 33.3 | （前期比：マイナス | 66.6） |
| 金属    | ▲ 21.4 | （前期比：プラス  | 14.3） |
| 一般機械  | 23.1   | （前期比：プラス  | 33.1） |
| 電気機械  | 8.3    | （前期比：プラス  | 38.3） |
| 木材家具  | 0.0    | （前期比：プラス  | 33.3） |
| その他業種 | 15.4   | （前期比：プラス  | 7.1）  |

2. 次期予想D I （2025 年 1 月～3 月）

次期予想の平均は▲ 12.9 ポイントで、今期調査結果の平均(1.7)より、14.6 ポイント下回る予想となりました。

### 業種別の次期予想D I

|       |        |              |       |
|-------|--------|--------------|-------|
| 食品    | ▲ 33.3 | （今期比：プラスマイナス | 0.0）  |
| 金属    | ▲ 35.7 | （今期比：マイナス    | 14.3） |
| 一般機械  | ▲ 7.7  | （今期比：マイナス    | 30.8） |
| 電気機械  | ▲ 8.3  | （今期比：マイナス    | 16.6） |
| 木材家具  | 0.0    | （今期比：プラスマイナス | 0.0）  |
| その他業種 | 7.7    | （今期比：マイナス    | 7.7）  |

3. 経営上の主な問題点

「原材料・仕入品単価の上昇」が 58.1%、「人材不足（技術者等質的なもの）」が 56.5%、「受注の減少」が 41.9%、「労働力不足（量的なもの）」が 25.8%、「納期の短縮」が 21.0%、「技術力の不足」が 16.1%「同業他社との競争激化」が 11.3%、「取引先の海外シフト化」が 9.7%、「為替相場の変動」が 8.1%、「製品販売価格の低下」が 6.5%、「人員過剰」と「金融難」が 1.6%となっております。

企 業 動 向 調 査  
【 2024 年 10 月～12 月期 <4 期> 】

【調 査 概 要】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年4回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は2024年10月～12月期<4期>の業況について調査した。

【調査実施要領】

実 施 時 期 2025 年 1 月

対 象 企 業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 94 社

回答企業数 62 社 （回答率 65.9%）

【調 査 結 果】

自社業況判断 （D I = 好転－悪化）

前 期 比：「好転」19.4%（前回13.5%）、「悪化」17.7%（前回28.8%）という割合で D I は 1.7 となり、17.0 ポイント好転した。

前年同期比：「好転」17.7%（前回19.6%）、「悪化」30.6%（前回29.4%）という割合で D I は▲ 12.9 となり、3.1 ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」12.9%、「悪化」25.8%という割合で D I は▲ 12.9（前回▲ 3.8）となり、前期より悪化を予想している。

受 注 引 合 （D I = 増加－減少）

前 期 比：「増加」21.0%（前回17.0%）、「減少」22.6%（前回26.4%）という割合で D I は▲ 1.6 となり、7.8 ポイント増加した。

前年同期比：「増加」21.0%（前回18.9%）、「減少」37.1%（前回34.0%）という割合で D I は▲ 16.1 となり、1.0 ポイント減少した。

次 期 予 想：「増加」9.8%、「減少」26.2%という割合で D I は▲ 16.4（前回▲ 13.2）となり前期より若干の減少を予想している。

生 産 量 （D I = 増加－減少）

前 期 比：「増加」16.4%（前回13.2%）、「減少」21.3%（前回26.4%）という割合で D I は▲ 4.9 となり、8.3 ポイント増加した。

前年同期比：「増加」19.7%（前回18.9%）、「減少」31.1%（前回30.2%）という割合で D I は▲ 11.4 となり、0.1 ポイント減少した。

次 期 予 想：「増加」11.5%、「減少」27.9%という割合で D I は▲ 16.4（前回▲ 9.4）となり、前期より減少を予想している。

#### 原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前 期 比：「低下」0.0%（前回 1.9%）、「上昇」47.5%（前回 42.3%）という割合で D I は▲ 47.5 となり、7.1 ポイント上昇した。

前年同期比：「低下」0.0%（前回 1.9%）、「上昇」71.2%（前回 76.9%）という割合で D I は▲ 71.2 となり、3.8 ポイント低下した。

次 期 予 想：「低下」0.0%、「上昇」62.7%という割合で D I は▲ 62.7（前回▲ 40.4）となり、前期より原材料・仕入単価の上昇を予想している。

#### 製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前 期 比：「上昇」13.1%（前回 13.7%）、「低下」1.6%（前回 0.0%）という割合で D I は 11.5 となり、2.2 ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」37.7%（前回 31.4%）、「低下」6.6%（前回 5.9%）という割合で D I は 31.1 となり、5.6 ポイント上昇した。

次 期 予 想：「上昇」23.0%、「低下」6.6%という割合で D I は 16.4（前回 9.8）となり、前期より製品販売価格の上昇を予想している。

#### 資 金 繰 り (D I = 好転－悪化)

前 期 比：「好転」8.1%（前回 1.9%）、「悪化」14.5%（前回 19.2%）という割合で D I は▲ 6.4 となり、10.9 ポイント好転した。

前年同期比：「好転」11.3%（前回 7.7%）、「悪化」17.7%（前回 15.4%）という割合で D I は▲ 6.4 となり、1.3 ポイント好転した。

次 期 予 想：「好転」4.8%、「悪化」19.4%という割合で D I は▲ 14.6（前回▲ 15.4）となり、前期より資金繰りの若干の好転を予想している。

#### 所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前 期 比：「増加」11.3%（前回 15.4%）、「減少」16.1%（前回 19.2%）という割合で D I は▲ 4.8 となり、1.0 ポイント減少した。

前年同期比：「増加」12.9%（前回 11.5%）、「減少」24.2%（前回 28.8%）という割合で D I は▲ 11.3 となり 6.0 ポイント増加した。

次 期 予 想：「増加」6.5%、「減少」19.4%という割合で D I は▲ 12.9（前回▲ 13.5）となり 前期より労働時間の若干の増加を予想している。

#### 収 益 率 (D I = 上昇－低下)

前 期 比：「上昇」8.2%（前回 9.8%）、「低下」26.2%（前回 27.5%）という割合で D I は▲ 18.0 となり、0.3 ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」14.8%（前回 19.6%）、「低下」31.1%（前回 39.2%）という割合で D I は▲ 16.3 となり、3.3 ポイント上昇した。

次 期 予 想：「上昇」3.3%、「低下」29.5%という割合で D I は▲ 26.2（前回▲ 17.6）となり、前期より収益率の低下を予想している。

## 経営上の問題点（複数回答）

|     |                 |           |
|-----|-----------------|-----------|
| 1位  | 原材料・仕入品単価の上昇    | (→ 58.1%) |
| 2位  | 人材不足（技術者等質的なもの） | (→ 56.5%) |
| 3位  | 受注の減少           | (→ 41.9%) |
| 4位  | 労働力不足（量的なもの）    | (→ 25.8%) |
| 5位  | 納期の短縮           | (→ 21.0%) |
| 6位  | 技術力の不足          | (↑ 16.1%) |
| 7位  | 同業他社との競争激化      | (↓ 11.3%) |
| 8位  | 取引先の海外シフト化      | (↑ 9.7%)  |
| 9位  | 為替相場の変動         | (↑ 8.1%)  |
| 10位 | 製品販売価格の低下       | (↓ 6.5%)  |
| 11位 | 人員過剰            | (↓ 1.6%)  |
| 11位 | 金融難             | (→ 1.6%)  |

※ 「↑」 前回の順位から上昇      「→」 前回の順位から変動なし  
「↓」 前回の順位から下降

## 業種別自社業況判断／食 品

前 期 比：「好転」0.0%（前回 33.3%）、「悪化」33.3%（前回 0.0%）という割合で  
D Iは▲ 33.3 となり、66.6 ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」16.7%（前回 66.7%）、「悪化」50.0%（前回 0.0%）という割合で  
D Iは▲ 33.3 となり、100.0 ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」0.0%、「悪化」33.3%という割合でD Iは▲ 33.3(前回 33.3)となり  
前期より大幅な悪化を予想している。

## 業種別自社業況判断／金属機械

前 期 比：「好転」0.0%（前回 14.3%）、「悪化」21.4%（前回 50.0%）という割合で  
D Iは▲ 21.4 となり 14.3 ポイント好転した。

前年同期比：「好転」7.1%（前回 15.4%）、「悪化」35.7%（前回 46.2%）という割合で  
D Iは▲ 28.6 となり、2.2 ポイント好転した。

次 期 予 想：「好転」0.0%、「悪化」35.7%という割合でD Iは▲ 35.7(前回▲ 14.3)となり、  
前期より悪化を予想している。

## 業種別自社業況判断／一般機械

前 期 比：「好転」23.1%（前回 10.0%）、「悪化」0.0%（前回 20.0%）という割合で  
D Iは 23.1 となり、33.1 ポイント好転した。

前年同期比：「好転」15.4%（前回 0.0%）、「悪化」23.1%（前回 40.0%）という割合で  
D Iは▲ 7.7 となり、32.3 ポイント好転した。

次 期 予 想：「好転」15.4%、「悪化」23.1%という割合でD Iは▲ 7.7(前回▲ 30.0)となり、  
前期より好転を予想している。

## 業種別自社業況判断／電気機械

前 期 比：「好転」25.0%（前回0.0%）、「悪化」16.7%（前回30.0%）という割合でDIは8.3となり、38.3ポイント好転した。

前年同期比：「好転」16.7%（前回20.0%）、「悪化」33.3%（前回20.0%）という割合でDIは▲16.6となり、16.6ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」16.7%、「悪化」25.0%という割合でDIは▲8.3（前回11.1）となり、前期より悪化と予想している。

## 業種別自社業況判断／木材家具

前 期 比：「好転」25.0%（前回0.0%）、「悪化」25.0%（前回33.3%）という割合でDIは0.0となり、33.3ポイント好転した。

前年同期比：「好転」0.0%（前回0.0%）、「悪化」50.0%（前回33.3%）という割合でDIは▲50.0となり、16.7ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」25.0%、「悪化」25.0%という割合でDIは0.0（前回▲33.3）となり、前期より好転を予想している。

Q10 日銀松本支店が12月13日に発表した、企業短期経済観測調査（短観）によると、全産業の業況判断指数は（DI）は、前回調査（9月）と比較して、1ポイントプラスとなりました。製造業は、マイナス14ポイントと1ポイント好転し、非製造業は、プラス14ポイントと横ばいでした。自社の景況感をどのように感じておられますか。

A 「好転している」6.5%、「今はないが、今後好転が見込まれる」9.7%、「変わらない」48.4%、「今はないが、今後悪化が見込まれる」22.6%、「悪化している」12.9%。

Q11 セミナーや講習等、従業員に受講させたいテーマがあれば教えてください。（複数回答）

A 「設計や加工等技術的な内容に関する講習」19.4%、「顧客分析や営業活動に関する講習」11.3%、「パソコン操作等事務の基本に関する講習」12.9%、「コミュニケーション技術や意欲向上に関する講習」21.0%、「リーダーシップや組織管理等管理職向けの講習」32.3%、「業界の最新動向に関する講習」、「ビジネスマナーなど若手社員向けの研修」とともに9.7%、「採用を進めるための研修」4.8%。

Q12 問11のうち、特に受講させたいテーマについて、具体的な内容をご記入ください。

A 「電話でのマナーを含めた言葉遣いなどの基本マナー。」、「採用面接時の見極め。」、「リーダーシップや組織管理等管理職向けの講習。」、「内向的な社員に向けたコミュニケーション技術の向上を目的とした講習」、「事務に役立つExcelの講習を、実際にパソコンで

操作しながら。」、「5リーダーシップや組織管理等管理職向けの講習。」、「電気機器組み立て技能士受験用の講座。」、「電話対応。」、「管理監督者向けにリーダーとしてどんなことが必要であるかについての講習。」、「同業他社の現在の状況。」、「CADの講習」、「工場はモノを生産するという目的で活動しています。いいモノを作るには、チームワークが必要と考えます。チームが1つになる方法（コミュニケーション）があればいいなと思います。」、「Accessの操作方法。できる者が少ないので活用方法等。」等。

Q13 問12のセミナーや講習等について、開催を希望する時期があれば、ご記入ください。

A 「3パソコン操作等事務の基本に関する講習、7ビジネスマナーなど若手社員向けの研修は4月頃。」、「いつでも。」、「5月～7月」、「可能であれば、月初月末を回避してほしい。」、「4月（新年度や新入社員など比較的大手の動きが弱い）」、「春以降。」、「冬季（10-1月）を希望します。」、「決算期とダブらないような時期。」

Q14 その他経営上の問題についてご記入ください。

A 「管理職の高齢化が進む中で次世代の管理職の育成が進まないため、どう育てるか、あるいはどうやって外部から招聘するかが課題。」、「新規設備導入が終わりこれからという時に受注が減少しています。営業活動強化を進めています。」、「ベテラン社員から中堅社員への技術引継ぎが思うように進まない。」、「1～8の項目がほとんど横ばいですが、悪化している最中の横ばいなので、事実上は悪化です。仕事量は減っているのに材料費は高く人件費も上がってしまい弊社のように作業工賃だけでやっている小企業はかなり厳しいです。」、「新製品開発、海外市場開拓の取り組み加速。」、「受注環境好転の兆しが見えない。」、「賃上げ。物価上昇についていけない。須坂インターの産業開発もあり賃金上昇は他地域より早急な対応が必要。原資をどう作るのか。値上げはいいが生産量(販売点数)は相当減っている。＝不安定化し生産性を上げづらい。」、「有能な人材が足りないが、人材確保費用の高騰に追い付けない。賃金上昇も人材紹介会社も、バランスを考えねば中小企業に人が流れてこず、休業・事業停止・企業提携が急増するだろう。」、「採用難である。」、「工事受注が増えて、工事現場に張り付く人間が必要で、人員が不足している。」、「生成AIに絡む半導体関連は好調であるが、実際的に弊社商流の中では回復がいまだ遅れている。」等。







